

# とうべつ

1993年6月1日発行

No.477

発行 北海道当別町  
編集 企画部企画課

「来年は、きれいな桜並木に」と、みどり野の住民約100人が5月9日、地域の緑地帯240㍍に、4月の世帯数と同数の130本の桜の樹を植樹した。





# まちのあれこれ話題

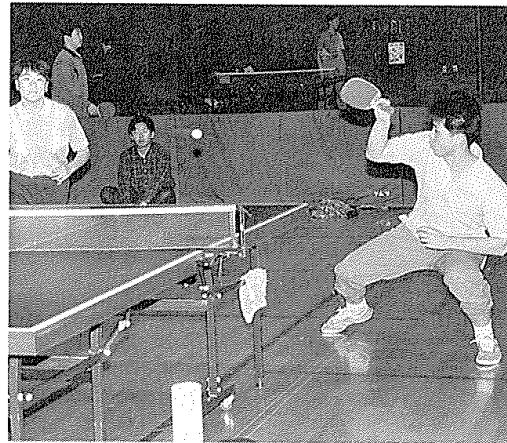


## 緑の少年団が「緑化募金」

「みどりの日」を前に、青山中央・弁華別緑の少年団（团长・岡本雅夫弁華別小学校長）団員108人の代表32人が、街頭募金と記念植樹を行った。募金箱を下げる当別農協前などに立った児童らは「募金お願いします」と元気よく買物客に呼びかけた。このあとの記念植樹では、青山中央小中学校前庭に、高さ約4mのドングリの木をていねいに植え込んだ。（4月26日）

**卓球大会に町民110人が熱戦**

当別町卓球協会（小林淳一会長）主催の、第4回河村清美杯争奪卓球大会が総合体育館で行われ、中学生以上の町民約110人が技を競いあつた。大会は、同協会で卓球の普及に貢献した、故河村清美氏の功績をたたえて開かれているもので、互いの技術の向上や親睦が目的。試合は、シングルスとダブルス戦の6種目が行われ、参加者たちは鋭いスマッシュを打ち込み合つていた。（4月25日）



## 7丁目ストアで模擬火災訓練

万代町の「7丁目ストア」店で模擬火災訓練が行われ、同店従業員21人や消防職員ら50人が、機敏な消火・救助活動を展開した。当別消防署が、春の火災予防期間中に合わせて毎年行っているもので、訓練は、同店食堂から出火、店内で逃げ遅れた1人が救助を求めているとの想定で行われ、ケガ人の救出や搬送、一勢放水が本番さながらに行われていた。（4月28日）



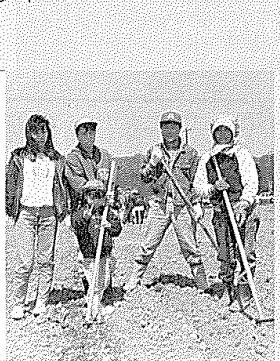
秋の豊かな実りを胸に種イモ植え



（5月16日）

「人と自然のグリーンコミュニティ'93」を持つファミリー農園が、青山中央の農業センターでオープンした。町と町観光協会が毎年開催しているもので、今年で10年目。今年も農業センターの敷地内にジャガイモ畠300区画（1区画13平方㍍・4,500円）を用意、当別町や札幌市民などから280区画の申し込みがあつた。好天に恵まれた畠には大勢の家族連れが、1つひとつていねいに種イモを植え込んでいた。特設の青空市場では、採りたてのウドやフキなどが格安で販売された。また、ジンギスカンコーナーでは、会場で販売のジンギスカンをおなか一杯に食べ、春のさわやかな1日を満喫していた。

「7年前から会員になりました。孫は札幌に住んでいますので普段の生活では体験できない土いじりを大変喜んでいます」と佐藤信雄さん（青山中央・娘さん（札幌市）一家。孫の仁美ちゃん（4歳）も「おいまを作るのも好きだけど、うさぎさん（小動物コナー）と一緒に遊ぶのが一番楽しい」と話してくれた。



## ファミリー農園オープン



## お知らせ

町役場 3-2330



在日留学生と  
交流しませんか

函館市の側北海道自衛隊演習センターでは14年前から世界各国から日本に留学している学生350人を、夏休みの2週間北海道へ招待し、各地でホームステイを行う「国際交流のつどい」を実施しています。

業に協力して3人程度の外国人受け入れを予定しています。  
ホームページの受け入れを通じて、交流を希望の方はご連絡ください。

**6月1日～7日 水道週間です**

6月1日から7日までの1週間は「水道週間」です。

期間中、次の行事を企画していますので、利用ください。

**浄水場の開放**

期間中、浄水場を開放していますので、水のできる湯程をご見学ください。

**簡易な無料修理の実施**

○簡易な修理を無料で実施します。申し込みは水道部水道課へご連絡ください。

**水道についての相談**

○合水工事、その他の水道に関するお問い合わせ

（六）立候補予定者説明会  
（七）投票日は6月27日  
（八）辻野建設工業（株）  
（九）三共建設㈱（3-3519）  
（一〇）3-2408  
（一一）6月27日（火）告示  
（一二）6月27日（日）が投票日です。  
（一三）投票時間は午前7時から午後4時までです。

※立候者定者 附候者に出席してください。

必要者は呼ぶ新規診査室もござります。

※ 料 金 無料。ただし、喀痰検査は800円。当別町国民健康保険加入者及び生活保護者は無料。

※ 申込期限 6月21日(月)

◎ 今後の肺がん検診の日程

○ 胃がん・肺がん・大腸がん検診 7月下旬～8月上旬

○ 成人病検診(基本健康診査と胃がん・肺がん・大腸がん検査) 8月下旬～9月上旬

※ 申込・問い合わせ先  
住民課保健衛生係 (内線12)  
7 保健婦まで

# 交流の輪が広がる 第10回 夏至祭 開催

当別・レクサンド都市交流協会（山田岩雄会長）が主催する、スウェーデンの伝統的な祭り「夏至祭」が6月20日、ウェーデン交流センター（スウェーデンヒルズ）と白樺園（役場西どなり）をメイン会場に開かれます。

10回目の開催を迎えた今年は、昭和62年に姉妹都市提携を結んだスウェーデンの『レクサンド市』からヴァイオリニスト演奏家や伝統美術家、スウェーデンの日系の中・高校生など21人を迎え、国際色豊かに繰り広げられます。

ヴァイオリニン演奏家が奏でる民族音楽に合わせ、高さ約1㍍の夏至柱の立ち上げと、夏至柱を開んでのフォーケダンス、吹奏樂・軽音樂コンサート、北欧物産や町の特産物販売(数量限定)、ゲームやお漬け込み抽選会など。

飲食コーナーでは、トナカイの肉も食べられます。

交流センター会場では、当別を学びながらJR石狩太美駅からヒルズ会場までを歩く「サマーウォーク」、ガラス工房での製作体験、レクサンド市の伝統美術家による実演会、フラワーランジメン

デンハウヌの見学など、  
白樺公園会場では、  
ヴァイオリン演奏家による  
演奏会、熱氣球の体験搭乗など。  
また、隣接の町総合体育館  
では、当別町出身の落語家「棚  
亭小痴樂」のほか、「林家木久  
藏」らが出演する寄席などの  
「バラエティショーケース」を2回公  
演します。  
ご家族やお友達同士誘い合  
わせのうえ、是非ご来場くだ  
さい。

JR石狩太美駅から交流センター会場、また、交流センター会場から白樺公園会場間に無料バスを運行します。

My Town Tobetsu

整理券の発行場所など詳しく述べます。各家庭へチラシを配布いたしますのでご覧ください。

## 自転車の安全利用パートII

- 乗る前にハンドル、ブレーキ、ライト、反射材などの点検をしましょう。
- 徐行、一時停止の習慣をしっかり身につけましょう。
- 小路から広い通りへ出るとき、信号機のない交差点を通過するとき、一時停止の標識や標示のあるところはもちろん、見通しの悪い曲がり角や路地から大通りへ出るときも必ず一時停止をし

- 交差点で右折するときは、特に後方の車と対向車や差車両の動きを十分確かめ、車の流れが途切れたとき右折するようにします。
- 信号機のある交差点で右折するときは、信号に従って歩行者の横断歩道に立てるよう

- 交差点の手前で大型車と並んだときは、大型車の「外角」と「内輪差」に注意し、大型車の側方から1m以上離れること

交通安全は家庭から







# いまい 現在を生きる新町民

江上 宏さん(みどり野・55歳)

「セカンドハウスにと思って建てた小さなこの家に通ううち、居ながらにして眺められる四季折々の自然に魅せられた」と、平成3年末にあえて札幌市から転入。帯広市出身で公務員。智恵子夫人と愛犬のアスカの3人(?)家族。

## 身近な自然から暮らしをエンジョイ

当別町民の仲間入りをしてから1年半。今では家族も1人(?)とグレートビレニーズ犬・3歳・女の子が増え、豊かな自然を満喫している毎日です。

当別町に住むこととなつたのは、趣味のゴルフのホームコースが当別町にあり、この「みどり野」に小さなセカンドハウスを建てたのがきっかけ

晴らしく、山間の木々がもたらす新緑や紅葉など、四季の移り変わりを居ながらにして楽しむことができます。

晴れた日の夜空には、北天に輝く星の美しさや、遠くには札幌の夜景を望むこともできます。また、身近な自然からは、季節毎に山菜の摘み採りなど、安らぎと豊かな暮らしがエンジョイするライフスタイルがあるよう思います。

サンデッキからの眺望は素

で、帶広、札幌、苫小牧、函館など、道内各地に住みました。だけ利用していたのですが、人(?)とグレートビレニーズ犬・3歳・女の子増え、豊かな自然を満喫している毎日です。

サンデッキからの眺望は素

で、これまでには勤務の関係

で、帯広、札幌、苫小牧、函

ご寄付ありがとうございました

☆社会福祉協議会へ

▼今井重雄さん(末広町)

▼山崎米子さん(栄町)から5万円

▼高野誠一さん(六軒町)から10万円

▼側見昌一さん(北栄町)から10万円

▼山下勝義さん(樺戸町)から5万円

▼山岸トミさん(当別大)から5万円

▼村田唯一さん(藏岱町)から2万円

▼当別社交ダンス同好会(烟堅一会长)から16,934円

▼平満さん(太美中央)から4,300円

▼条大助さん(みどり野)

から32,500円

▼社協愛の小箱設置店からモナコ会館(旭町)から1,854円

正ぐつわきゆー  
北海本舗

No. 188



の整備、当別ダムの着手など、「リフレッシュ」とうつぶつ構想も着実に実現化が進められていますが、『まちづくり』は、うるおいのある豊かな自然に恵まれた生活環境を確保しながら、自然条件を生かして、地域の特徴的な景観づくりと、構築物と自然との調和に配慮した、節度のある発展を期待します。